

USB メモリのバージョンアップ Ver7.6 (2022.4)

このバージョンアップソフトは、以下の製品専用です。

Content Guard Ver6.X → Ver7.6

Data Content Guard Ver7.0～Ver7.5 → Ver7.6

■対応 OS : Windows8.1/10/11

※WindowsXP/Vista/7 でも動作しますがサポート対象外になります。2020/5 以降に公開された Windows10(20H1 以降)は仕様が大幅に変更になり古いバージョンの互換性がありません。2022 年以降の Windows 更新でご利用になるには USB メモリのバージョンアップが必要です。Ver7.6 は新しい Windows10 や Windows11 にも対応しています。

■オンライン更新について

本 USB メモリにはオンライン更新機能があります。30 日間隔で更新チェックされていますが、お急ぎの場合やオンライン更新ができない場合は本更新ソフトを利用して下さい。オンラインで配布されるものは、緊急対応が必要な場合や Windows11 対応など大きな改定がある場合です。細かな改定のリビジョンアップ版は自動配布されません。更新をご希望の場合は下記 URL で更新ソフトをダウンロードし手動で更新を行って下さい。

http://www.abroad-sys.com/USB/2004/10_20H2.html

※オンライン更新できない原因として考えられるものは次の通りです。①USB 設定で更新機能が停止されている②Windows の制限アカウントで運用されている場合④セキュリティソフトの誤検知で動作が抑制されている場合⑤その他ハードウェアトラブル等上記以外の原因

■Ver6 を併用される場合のご注意

「コンテンツガード」は Ver7 より「データコンテンツガード」という名称に変更になりました。Ver6 と併用する場合は、旧アイコンが Windows キャッシュで保持されている関係で直ぐには変更されない場合があります。



■Data Content Guard PDF マニュアル

<http://www.abroad-sys.com/USB/DC7.6.pdf>

■更新の流れ

①更新対象の USB メモリ製品が確認する

②更新ソフトをダウンロードしてデスクトップ等に解凍します。

③システムファイルの更新

更新する USB メモリを挿入して更新ソフト Verup.exe をダブルクリックして起動します。チェックボックスにチェックを入れて「更新」ボタンをクリックすると更新されます。

※保護領域を表示していると更新できません。UsbStart.exe が見える状態で更新を行って下さい。

■DC7.6.1_NON_ProtectArea

非保護領域側付属ソフトウェアの更新（任意）

UsbQuickStart.exe の差し替え

UsbQuickStart.exe は、Setup フォルダの中にある UsbSetting で設定される起動ソフトです。UsbQuickStart がセットアップされているパソコンでは USB が挿入すると自動起動します。Ver7.6 で UsbQuickStart.exe が変更になっています。ご利用になっている場合は UBS の setup フォルダにある UsbQuickStart.exe を差し替えて下さい。UsbQuickStart.exe は直哲実行（又は UsbSetting のメニューを選択）するとセットアップされ、もう一度実行するとアンインストールになります。

■DC7.6_ProtectArea

保護領域側付属ソフトウェアの更新（任意）

※差し替えは管理者の方が行います。管理パスワードを使い、書き込み禁止の解除が必要なので利用者の方は更新できません。

DC7.6ProtectArear フォルダ

保護領域のツールを更新する場合は DC7.6ProtectArear フォルダ内のファイルを全て上書きします。

■更新対象の USB 製品に該当しているか確認しよう

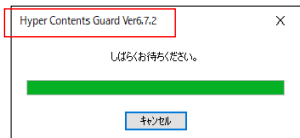
USB メモリ製品の識別方法

方法 1. USB メモリの裏面のマーキングを確認する

Data Content Guard のマーキングがある場合は更新ができます。

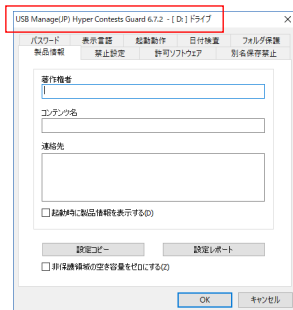
方法 2. USB メモリの裏面のマーキングがない場合

“UsbStart”を実行したときに「しばらくお待ちください」のメッセージウィンドウのタイトルを確認する



UsbStart.exe →

方法 3. 管理ソフト UsbManage のウィンドウタイトルを確認



UsbManage

管理パスワードが
必要です。

方法 4. 管理ソフト UsbManage の設定レポートを確認する

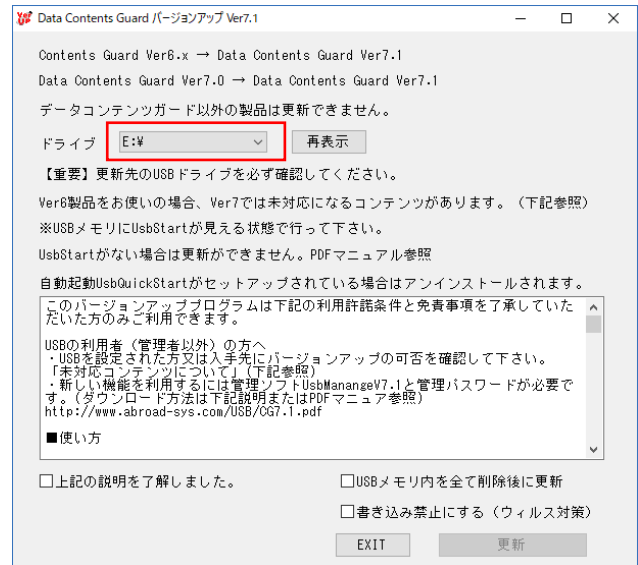
この方法は管理パスワードが必要です。設定レポートボタンをクリックすると UsbSetting.txt が保存できます。この設定レポートを既に保存している場合は製品名が記載されています。

■更新ソフト VerUp の使い方

1. 更新を行う USB メモリを挿入します。
2. USB メモリを開いて UsbStart がある事を確認して下さい。

UsbStart が見つからない場合は→「UsbStart がみつからない場合」を参照

VerUP.exe をダブルクリックして起動します。



① USB メモリを挿入しているドライブを確認します。

※通常は USB メモリが挿入されているドライブが表示されています。表示が正しくない場合は、接触不良など USB メモリがパソコンに正しく認識されていないので USB メモリを抜き差しして再認識させるか、手動で正しいドライブを設定して下さい。

②チェックボックスに全てチェックを入れて「更新」ボタンをクリックします。更新は数秒で終了します。

☐ 上記の説明を了解しました。

説明文を確認したらチェックを入れて下さい。不明点がある場合は、製品サポートにお問い合わせ下さい。

☐ USB メモリ内を全て削除後に更新

USB メモリに保存してあったファイルは、Verup.exe を起動したフォルダ内に VerupYYYY-MM-DD の名前で作成されます。

YYYY-MM-DD は日付 重複した場合は_0 などの数字で管理されます。

☐ 書き込み禁止にする

USB メモリにファイルの追加ができないように空き容量をゼロにします。ウィルスなどの感染を防ぐ事ができます。

書き込み禁止を解除したい場合は、「☐書き込み禁止にする」のチェックを外した状態で、もう一度 VerUp を実行して下さい。

■お問い合わせ先

平日 10:00-18:00 support@abroad-sys.com